

+DX認定試験 スキルレベル

この資格は、DX推進を行うにあたり、世界情勢や不確実な社会の激しい変化に対応し、テクノロジーやデータなどデジタルを活用し、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する、また自社の業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立するため、ビジネスを企画・遂行するために必要な、「DX推進を俯瞰し設計・遂行する能力」を有しており、DX推進プロジェクト参加者として適切なコミュニケーションを行うことができる力を認定する。

- ・デジタル・トランスフォーメーションが理解できている
- ・DX推進のユーザーとしてプロジェクトに協力ができる
- ・DX推進の役割として担当者や推進メンバーになれる
- ・他者／他社とDX推進を共有し、合意形成に参加できる
- ・DXプロジェクトの目的や効果を理解することができる

+DX出題比率

カテゴリ(大項目)	出題比率	内容
1)革新性・創造性	20%	DX推進、デジタル・トランスフォーメーションなどの理解、イノベーション、スタートアップ、リーン手法など。
2)実現性・計画性	20%	DX推進するための考え方や計画、実現するアイデアや構築システムの提示、PoCなど。
3)生産性・付加価値	20%	必要となる技術やサービス(IoTやAIなど)の導入、デジタル化した場合の生産性や原価、人的レベルの考え方など。
4)継続性・人材育成	20%	DX推進を通じた事業の継続性や仕様変更など可変性、不確実な未来への対応、DXを推進する人材の育成として考え方・手法など。
5)共創・顧客視点	20%	社内・社外の連携、パートナーとの共創意識、合意形成など。顧客の価値に立脚した視点でのものづくりなど。

+DX認定試験 スキルマップ

分野	項目	スキル標準	キーワード
革新性・創造性	説明	DX推進、デジタル・トランスフォーメーションなどの理解、イノベーション、スタートアップ、リーン手法など。	
	DX概要		DX推進、DXとは、2025年の崖
	革新		イノベーション、イノベーション・マネジメントシステム(ISO56002)
	創造		スタートアップ、リーンスタートアップ
	手法		リーン、アジャイル、ウォーターフォール、BMC
実現性・計画性	戦略		バランススコアカード、戦略立案、DX戦略、ビジョン、スマートファクトリー
	説明	DX推進するための考え方や計画、実現するアイデアや構築システムの提示、PoCなど。	
	企画		事業企画、ビジネスモデル、エンタープライズアーキテクチャ、AISAS、バリューチェーン、As-isTo-be
	検証		PoC
	分析		ビジネスプロセス、ビジネスモデリング、ロール分析、QFT、9windows、リーンキャンパス、カスタマージャーニーマップ
	外的要因		VUCA、アウトカム(成果)情報セキュリティ
生産性・付加価値	目標管理		KGI、KPI、OKR、成熟度モデル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント
	説明	必要となる技術やサービス(IoTやAIなど)の導入、デジタル化した場合の生産性や原価、人的レベルの考え方など。	
	付加価値		効果金額、効果検証、モノのサービス化
	コスト		TCO、開発と運用、ダイナミックセル、マスカスタマイゼーション
継続性・人材育成	技術		クラウド、AI(ML/DL)、5G、IoT、セキュリティの3要素 ロボット、RPA、ノーコード/ローコード XR(VR/AR/MR)、ドローン、自動運転、ブロックチェーン、 データ分析、データ活用、量子コンピューティング
	説明	DX推進を通じた事業の継続性や仕様変更など可変性、不確実な未来への対応、DXを推進する人材の育成として考え方・手法など。	
	運用		DevOps
	ルール		ガバナンス
	育成		リテラシ、リカレント教育 業務知識 事業承継 スキル管理
共創・顧客視点	組織		プロジェクト型、マトリックス型、階層指示型、ティール組織、チームビルディング、ジョブ型人事制度
	説明	社内・社外の連携、パートナーとの共創意識、合意形成など。顧客の価値に立脚した視点でのものづくりなど。	
	構想		デザイン思考
	業務		業務知識、業界知識
	戦略		アライアンス、M&A(事業売却・買収) 新会社設立 出資 資本政策、サービスマネジメント、顧客体験、CX
	契約		秘密保持、著作権、業務委託、個人情報
	ユーザー		UI/UX
	合意形成		バックキャスト、フォアキャスト、ムーンショット、ファシリテーション、コミュニケーションカ ステークホルダー
	手法		プロジェクトマネジメント、アジャイル、リーン
コミュニティ		グループ、コミュニティ、チーム、オンライン、SNS	